

〔江別市〕施策達成度報告書

政策 04 安全で快適な都市生活の充実

施策 04 市街地整備の充実

主管課 都市計画課

施策の環境変化と課題

施策の環境変化 (22年度)	施策の課題 (22年度)
<ul style="list-style-type: none"> ・拡散型の都市構造に歯止めをかけ、機能的な生活拠点を造ることが求められています。 ・少子高齢化の進展により、駅等を中心としたコンパクトな市街地の整備が求められています。 ・中心市街地の活性化などの都市の再生が求められています。 ・駅周辺における市街地整備やバリアフリー化は着実に進んでいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市基盤施設の維持管理コストなど都市経営コストの増大が課題となっています。 ・自動車に依存した都市構造から、歩いて暮らせる都市構造への移行が課題となっています。 ・市街地の低利用地、未利用地の都市的土地利用及び土地利用転換をするための誘導策が求められています。

施策の目的

機能的で魅力的な市街地やまち並みを形成し、市民が暮らしやすいまちづくりを目指します。

対象 (誰を対象とした指標か)

市街地

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

機能的で魅力的な街区やまち並みを形成する。

施策の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

施策の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
機能的な「まち」と感じる市民割合	%	65.1	70.0			↗

施策の達成状況 (22年度)

アンケート調査実施年でないため、「機能的な「まち」と感じる市民割合」の成果指標から達成状況を分析することはできませんが、駅のバリアフリー化の促進のほか、鉄道高架事業が目で見えて実感できる状態になってきていることから、成果は向上しているものと推察されます。今後も野幌駅周辺整備の進捗に伴い、成果指標の向上が見込まれます。

施策事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度当初予算
トータルコスト(千円)	1,165,672	692,893	1,349,471
事業費(千円)	787,280	692,893	969,050
人件費(千円)	378,392		380,421

基本事業

01 江別の顔づくり

基本事業の目的

都心地区の整備・充実を図り、より快適な市民生活と経済活動の集積に努めます。

対象 (誰を対象とした指標か)

都心地区

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

市街地の整備充実を図り、快適な都心(中心市街地)を形成していく。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
野幌駅周辺の利便性・快適性に満足している市民割合	%	55.5	60.5			↗
鉄道高架後の南北交通量	台/日	31,898				40,000
中心市街地の店舗延べ床面積	m ²	102,858	102,654	104,479		105,000

基本事業の達成状況 (22年度)

野幌駅周辺における利便性、快適性の市民満足度に関する指標は、ほぼ横ばいですが、今後、鉄道高架の開業を契機として、街路や駅前広場等の整備が本格的に動き出しますので、成果指標の向上が見込まれます。また、中心市街地の店舗延べ床面積については、幹線道路沿道や区画整理区域における店舗立地により、成果指標が上昇しております。今後におきましても、区画整理や街路事業等の計画的な進捗管理を行い、更なる成果指標の向上に努めます。

基本事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度当初予算
トータルコスト(千円)	658,986	464,594	882,005
事業費(千円)	526,218	464,594	731,304
人件費(千円)	132,768		150,701

基本事業

02 計画的な土地利用の推進

基本事業の目的

計画的な市街地整備を進めるとともに活性化を誘導し、市街地の土地利用向上をさせます。

対象 (誰を対象とした指標か)

市街地

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

- ・市街地の土地利用率が上がる。
- ・市街地外縁部の利点を活かした土地利用を図る。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
土地の有効利用率	%	72.0				75.1
市街地での新規着工戸数 【初期値(H19) 前期4年間 1,444戸(累計)】	戸(累計)	-	138	322		1,110以上

基本事業の達成状況 (22年度)

土地利用の推進については、市街地での新規着工戸数が鈍化の傾向にあるものの、土地区画整理区域内を中心として、ゆっくりではありますが土地利用が進んでいるものと推察されます。

基本事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度当初予算
トータルコスト(千円)	83,190	5,875	37,546
事業費(千円)	28,838	5,875	4,554
人件費(千円)	54,352		32,992

03 安全で憩える公園の整備

基本事業の目的

市民との協働により公園再整備を進め、さらに市民管理の公園を増やします。また、安全で憩える公園を増加させます。

対象 (誰を対象とした指標か)

公園、地域住民

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

市民と行政の協働により、安全で憩える公園を増加、リニューアル、運営する。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
憩いの場としての公園満足度	%	71.7	74.2			↗
市民と協働で管理している公園数	箇所	68	70	76		80

基本事業の達成状況 (22年度)

憩いの場としての公園満足度の指標はH22年度市民アンケート調査が未実施であることから未取得であるが、市民と協働で管理している公園数が6公園増加しており、このことは公園満足度の向上にも貢献しているものと推察でき、達成状況は上向きととらえています。

基本事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度当初予算
トータルコスト(千円)	215,938	200,936	223,967
事業費(千円)	205,980	200,936	211,341
人件費(千円)	9,958		12,626

04 人にやさしくわかりやすい街並みづくり

基本事業の目的

美しい都市景観づくりや施設のバリアフリー化を進め、人にやさしい施設、わかりやすく景観に配慮した街並みをつくります。また、駅及び駅周辺、特別特定建築物などの関連整備を図り、利便性の高い機能的なまちをつくります。

対象 (誰を対象とした指標か)

市街地、駅及び駅周辺の建物等

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

人にやさしい施設、わかりやすく機能的かつ景観に配慮した街並みになる。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
まち並みがわかりやすいと感じる市民割合	%	66.3	69.2			↗
駅及び駅周辺においてバリアフリー等利便性の向上が進んでいると感じる市民割合	%	84.0	89.5			↗

基本事業の達成状況 (22年度)

成果指標である「まち並みがわかりやすいと感じる市民割合」及び「駅及び駅周辺においてバリアフリー等利便性の向上が進んでいると感じる市民割合」は、「まちづくり市民アンケート」が実施年でないため、指標値未掲載。平成22年度に野幌駅のバリアフリー化工事を開始し、市内主要駅のバリアフリー化が進んでいます。

基本事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度当初予算
トータルコスト(千円)	15,234	2,886	12,434
事業費(千円)	6,935	2,886	3,473
人件費(千円)	8,299		8,961

主要事業一覧(施策別平成22年度予算)

◎は実施計画事業を、○は主な臨時費を示す。人件費B欄は、各事業へ703人(H22.1.1一般職員数)分を振り分けている。
1人当たり平均単価8,328千円は「一般職総額5,871,246千円/705人(H22.4.1一般職員数)」で算出している。

(単位:千円)

政策 施策	主 な 事 業	事業費 A	A の 財 源 内 訳					主 な 内 容	人件費 B	総額 A+B
			国	道	市債	その他	一般財源			
04	安全で快適な都市生活の充実									
04	市街地整備の充実									
	◎ 江別の顔づくり事業(商業等活性化事業)	1,556					1,556	商店街活動支援他	20,820	22,376
	◎ 江別の顔づくり事業(連立事業・街路事業等)	313,674			249,800	37,000	26,874	連続立体交差事業負担金、高架下駐輪場実施設計委託他	37,476	351,150
	◎ 江別の顔づくり事業(野幌駅周辺土地区画整理事業)(補助事業分)	88,000	44,000		39,600		4,400	野幌駅周辺土地区画整理事業執行に係る補償費他(補助事業分)	37,060	125,060
	◎ 江別の顔づくり事業(野幌駅周辺土地区画整理事業)	89,641					89,641	野幌駅周辺土地区画整理事業執行に係る仮換地指定資料作成等委託、宅地整地工事費、移転補償費他	37,892	127,533
	◎ 市民参加による公園づくり事業	20,953			15,000		5,953	すみれ公園(上江別西町)改修2,730㎡、地域住民によるワークショップ	2,915	23,868
	○ 大麻地区住環境活性化事業	644					644	【新規】「(仮称)大麻団地まちづくり推進会議」支援	8,328	8,972
	○ 都市景観創出事業	901					901	都市景観賞の実施経費、まちづくり彩々展開催経費、美原大橋ライトアップ経費等	4,997	5,898
	○ 江別市デジタル現況図整備事業	1,300					1,300	デジタル現況図修正(建物データの更新)	1,666	2,966
	○ 都市計画図印刷経費	1,500				642	858	都市計画図作成費	1,666	3,166
	○ 公共サイン設置事業	2,375					2,375	避難場所・施設までの案内表示の新設(1か所)	833	3,208
	○ 町名板再整備事業	536					536	信号機に設置する町名板(4基)の整備	4,997	5,533
	公園管理事業	176,948				1,495	175,453	市管理公園の維持管理経費(228公園)、指定管理委託費	4,580	181,528
	○ 公園施設改修整備事業	2,460					2,460	石狩川河川敷緑地野球場バックネット改修	416	2,876
	○ 住宅資金貸付金	5,651				5,651		過年度償還分(7件)	1,249	6,900

※平成22年度予算金額です。